

内科学系消化器肝臓内科学分野

「慈心妙手」「高きを仰ぎ最善を尽くす」

患者さんを思いやる心を持って優れた技術で診療を行い、科学的な精神も併せ持った消化器内科医を育成します。

消化器内科医としての在り方



主任教授 木暮 宏史

- 目の前でつらい思いをしている患者さんに寄り添い、高い技術で最善の治療を提供します。
- 他院や院内他診療科からの紹介患者さんは二つ返事でお引き受けして、できる限り多くの患者さんの診療に当たります。
- そのようにして積み重ねてきた診療データを基に、新しい治療や技術の確立のための取り組みも積極的にを行い、自分たちが直接診察する機会のない患者さんにも恩恵をもたらします。

日本大学消化器肝臓内科の教室紹介

当科の前身である第三内科学教室は、昭和29年6月1日に駿河台日本大学病院に開講されて以降、内科一般、特に消化器病、超音波、内視鏡、消化器集団検診を中心に臨床および研究を行ってきました。そして地域医療の担い手となる優れた臨床家を多数輩出しております。令和4年4月より木暮宏史主任教授が着任され、消化器診療において日本のトップランナーになることを目標に、新たなスタートを切りました。各人の個性や背景を尊重し、風通しが良く居心地の良い教室を目指します。

教室主要スタッフおよび関連病院

<板橋病院>

主任教授／部長	木暮 宏史
診療教授／科長	神田 達郎
准教授	小川 眞広
診療准教授	中島 典子
助教／救急医長	山上 裕晃
助教／教育医長	増崎 亮太
助教／医局長・超音波室長	松本 直樹
助手／病棟医長	野村 舟三
助教／内視鏡センター長	市島 諒二

<日本大学病院>

教授	後藤田卓志
准教授／科長・内視鏡室長	今津 博雄
医局長	高橋 利実
助教／病棟医長・超音波室長	渡邊 幸信
助手／外来医長	金子 真大



教授 後藤田卓志

■ 関連病院

公立阿伎留医療センター、板橋医師会病院、川口市立医療センター、医療法人社団創新会みつわ台総合病院、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）横浜中央病院

日本大学消化器肝臓内科の特色

- 消化管（食道・胃・小腸・大腸）、肝臓、胆膵（胆道・膵臓）の3領域全てで高いレベルの診療が行われています。特に胆膵領域では消化管再建術後例に対するバルーン内視鏡を用いたERCP、EUSガイド下胆道ドレナージといった最先端の治療が行われています。
- 上下部内視鏡、腹部超音波といった消化器内科医としての基本スキルだけでなく、ESD、ERCP、EUS、IVR（血管造影、経皮的ドレナージ）といった応用スキルも習得できます。
- 救命救急センターと連携して消化管出血、急性胆管炎・胆嚢炎、急性膵炎などの救急疾患を積極的に受け入れています。
- 消化器外科と連携してシームレスな消化器がん診療を提供しています。
- 各人のキャリアプランに応じて、ジェネラリストとスペシャリストの両者を育成していきます。



- 消化器がんの臨床検体のゲノム・エピゲノム解析、liquid biopsy など、新しい方法論に基づいた臨床検体の解析を行い、研究成果の臨床への還元を目指した基礎研究を行います。消化器診療における Unmet medical needs の解決を目指した臨床研究を行います。



研修内容

初期臨床研修修了後、後期研修1年目は内科専攻医として当科を含む内科学系でのローテーションを行い、内科専門医の取得を目指して症例登録、病歴要約の登録を進めます。2、3年目は登録の進捗状況に応じて当科を中心に当院と関連病院で研修します。当科では主として病棟医として配属され、消化器内科医としての基本スキル（疾病マネジメント、内視鏡、超音波など）を習得します。意欲とスキルに応じて、ERCP、ESD、IVRのトレーニングも行うことができます。内科専門医取得後は、希望するサブスペシャリティ領域の専門研修を積むことにより、サブスペシャリティ専門医を取得できます。消化器領域のサブスペシャリティは、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医です。大学院に進学して学位取得を目指す場合も並行して専門医の取得が可能です。

当科で取得可能な専門医

内科専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、超音波専門医

キャリアパス

大学病院、市中病院、開業など様々なキャリアパスに対応した人材育成を行っています。

女性医師をはじめ、各人のライフプラン、ライフスタイルに応じた、多様性を認める環境の構築に取り組んでいます。

問い合わせ先

日本大学医学部 内科学系 消化器肝臓内科学分野

<http://www.gastro-nu.jp/>

医局長 松本 直樹

E-mail : matsumoto.naoki @ nihon-u.ac.jp

TEL : 03-3972-8111 (内線 2424)

FAX : 03-3956-8496





板橋病院スタッフ



日本大学病院スタッフ